

◆今期間のポイント

<主要じょう乱の概要>

- 23日は、高気圧が日本の東へ移動し、前線が大陸から沖縄付近にのびる。
- 24日から25日にかけて、前線を伴った低気圧が本州南岸付近を通過し、北日本を気圧の谷が通過する。
- 26日から27日にかけて、低気圧が黄海から日本海へ進む。

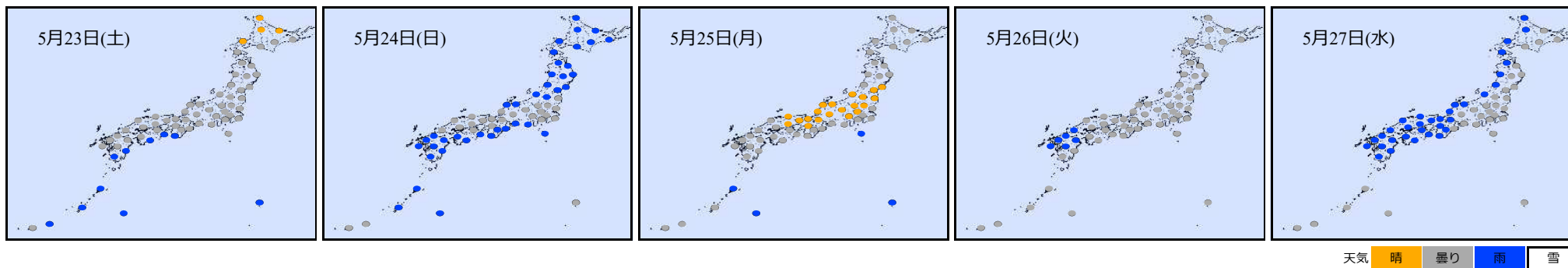
<防災事項> 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- なし。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

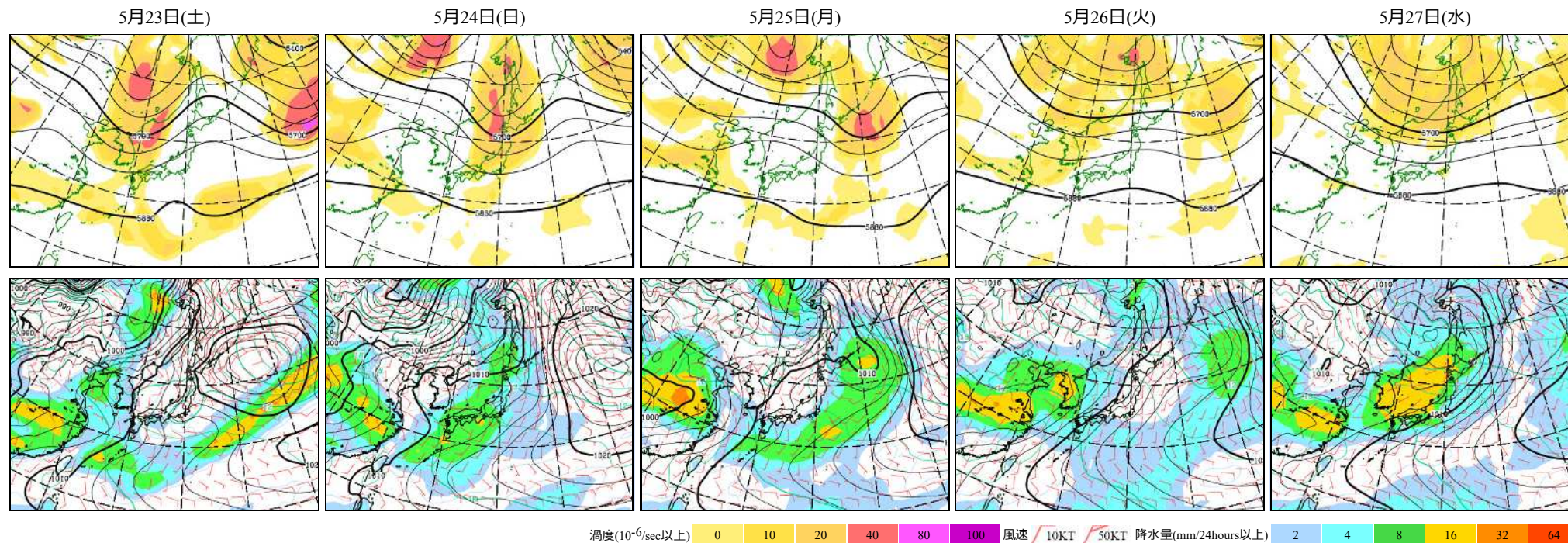
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

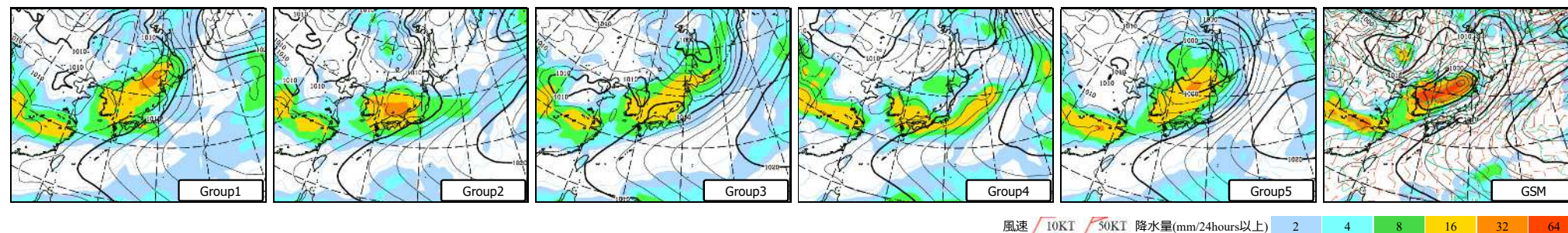


- 北日本と東日本は、曇りまたは晴れの日が多いが、24日と27日は雨の降る所がある。
- 西日本は、曇りや雨の降る日が多い。
- 沖縄・奄美は、雲が広がりやすく、23日から25日にかけては雨の降る所がある。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆5月27日のENSクラスター平均(グループ1~5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料 (ENS) は、大きな初期値変わりはない。26日に日本付近を進むリッジが強くなった。地上の気圧配置は、25日に千島の東に予想れていた低気圧は弱くなった。
- 24日に日本付近に進むトラフは、GSMが初期値変わりして他のモデルとの差が小さくなった。26日以降はモデル間の差が大きくなっている。
- 27日は、GSMとNCEPは低気圧を日本海に予想するが、ECMは四国沖に予想する。ENSは、日本海に低気圧を予想するメンバーが多く、ECMに近いメンバーはない。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。